

# 広報 南丹

こうほう なんとん

Nantan City Public Relations Magazine

2020-21

12-1

Vol.104



**特集①**  
農山村を守る～野生鳥獣被害～

**特集②**  
財政状況の公表

表紙：12月13日の高校生YouTuber養成講座交流会の参加者ら

令和3年1月1日に

南丹市制施行15周年を迎えました





# 農山村を守る

南丹市は多種多様な生き物が生存しており、人と自然が共存している地域です。豊かな自然を守り、環境と調和した生活を送ることがそれらを守るためには必要です。

しかし、その生き物たちは時に人びとの生活を脅かす存在となります。特に害獣による被害は人が生活するうえで欠かせない「食」に害をもたらします。

## 野生鳥獣被害の現状

近年、中山間地域を中心にシカやイノシシなどの野生鳥獣による被害が深刻な社会問題となっています。全国の野生鳥獣による農作物被害額はここ20年近く年間200億円前後で推移しています。

また、こういった鳥獣被害は農林業に多大な被害をもたらすだけに収まりません。人的被害や生活環境の悪化といった被害が深刻化するとともに、森林破壊、希少植物の食害など生態系への影響も問題となっています。さらに、鳥獣による被害は営農意欲の減退や耕作放棄地の増加にもつながり、被害額として数字に表れる以上の影響を農山漁村に対して与えていると言えるでしょう。

## 野生鳥獣被害の影響

野生鳥獣による主な被害は農作物への被害であり、農家が最も困っている問題の一つです。

しかし、農作物だけが野生鳥獣による影響を受けているわけではありません。防護柵の設置に伴う費用や時間、深刻な被害による離農も野生鳥獣による被害の一つと言えます。また、庭を荒らされたり、道路への飛び出しによる車両事故など、農家だけに限らず、地域の住民たちの生活に影響しています。



## 野生鳥獣被害の対策

野生鳥獣被害対策は、防護柵の設置が主流です。防護柵によって農地に接近侵入させないことにより、農作物の味を覚えさせず、農作物を野生鳥獣による被害から守ります。しかし、農作物への被害を軽減するためには、侵入を防ぐだけでなく、被害を引き起こす個体を効率よく捕獲することも必要です。銃猟は農山村を守るうえで必要不可欠なものとなっています。

## 猟友会の役割

近年、猟友会の活動内容や期待される役割が変化しつつあります。シカやイノシシなどが増えすぎて、農林業に深刻な被害を及ぼすようになった結果、猟を楽しむのではなく、行政や農家の要請に基づいて有害鳥獣の捕獲することが多くなりました。つまり、現在は社会活動という側面が大部分を占めるようになりました。

猟友会の方々はベテランで知識がとても豊富です。そのため現在の活動は非常に良好ですが、将来的には高齢化による捕獲頭数の減少が深刻な問題となると考えられます。

## 南丹市の捕獲頭数の推移

野生鳥獣による被害を受ける理由のひとつとして個体数が多いことが挙げられます。例えばシカは繁殖力がとても高く、3歳から約10年間、ほぼ毎年、子どもを産み続けるとされています。このことから、個体数の維持や減少には安定した捕獲が求められます。

南丹市における野生鳥獣の捕獲頭数の推移は下表のとおりです。令和元年度の捕獲頭数はシカ1379頭、イノシシ279頭、アライグマ52頭、カワウ24羽となっています。そのほかにもサルやアナグマなども一定の捕獲がされています。

また、野生鳥獣の捕獲は一歩間違えると人身事故に発展する危険性がある行為のため、安定した捕獲と同じくらいに安全性の確保は重要なことです。南丹市では南丹市猟友会と委託契約を締結しています。実績ある組織に委託し、その組織の中で駆除班員として相応しい方のみを駆除班員として活動していただいています。厳格なルールを順守していただき、事業としての安全性を確保しています。



# Interview

“私たち**獵友会**は自然界の調整役。

すなわち「**森の番人**」として活動しています”



「シカやイノシシの捕獲は獵銃を使った巻き狩りが主流です。旧町単位で行動するのではなく、南丹市一円で狩獵を行うことで効率よく確実に捕獲を行うことができます」

西村会長はシカやイノシシの生息域の調査結果から、人数配置などの事前調整をされています。

「私が獵友会に入ってから約40年になります。昔は狩りといえば趣味の範囲ですのものでした。しかし、時代は変化し、現在では地域貢献として活動しています。獵友会のメンバーも意識が高まり、責任感や誇りをもって活動してくれています」

無線技術などの発展により狩りの方法も変化があるようです。

「無線のデジタル化、GPSの進歩などは、良い意味で狩獵方法に大きな変化をもたらしました。今はドローンによって生息域の調査や、サルやクマなどの追い払いもできるようになってきました」

西村会長は「ただ捕獲するだけではだめ」と話されました。

「害獣と呼ばれるシカやイノシシも命あるものです。しかし、現状ではその命のほとんどが有効活用できていません。ジビエやペットフードなどに有効活用されることは大切なことであり、今後、行政機関などと連携しながら実現していかなければならないことです」

南丹市獵友会では後継者の育成にも力を入れています。

「ベテランのハンター達は長年培ってきたスキルがあります。若手のハンターにはベテランハンターの姿を見て一生懸命勉強してもらっています。もちろんですが、勉強しているのはスキルだけではなく、立派なハンターになり、自然界の調整役として活躍してくれると思っています」



## 南丹市野生鳥獣捕獲個体減容化施設

シカやイノシシを始めとする農林水産作物に被害を及ぼす増えすぎた鳥獣は、有害鳥獣として駆除されており、これまでその捕獲個体は一部のジビエ利用を除いてそのほとんどを山に埋設処分していました。埋設には捕獲者の苦労を強いており、埋設は合法ではありませんでしたが、環境面において不安もありました。

捕獲者が重労働の埋設作業から解放されれば、捕獲に専念でき捕獲の効率化に繋がります。また環境面からも健全な処理ができることなどから南丹市野生鳥獣捕獲個体減容化施設が建設されることとなりました。同施設は令和3年3月頃に完成予定です。

### 減容化の仕組み

減容化(減量化)は微生物による好気性分解、すなわち酸素が十分にある状態で微生物が有機物を分解する作用を利用しています。シカ一頭なら丸1日で肉や内臓はほぼ分解してしまいます。骨や角も1週間もあれば全て分解し、跡形も無くなってしまう。

同施設の分解装置では1日に最大200kgまで処理できますが、機械や微生物に負担をかけないよう冷凍庫を使いながら1日当たり100kg以内に調整し処理しますが、分解の過程でおいが発生しますが、処理装置の横に水を利用した脱臭装置があり、おいを軽減しています。また脱臭に利用した水は水質に問題はありません。



▶ 処理施設の外観



ジビエとは狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味する言葉(フランス語)で、ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化です。

その昔フランスなどでは、ジビエを使った料理は自分の領地で狩猟ができるような、上流階級の貴族の口にしか入らないほど貴重なものでした。

山野を駆け巡った天然の肉は、脂肪が少なく、栄養価も高い、力強く生命力に溢れたごちそうです。

野生鳥獣が食文化を豊かにしてくれる食材として、また、中山間地域を活性化させる地域資源として注目されるようになってきました。まさに森からの贈り物です。



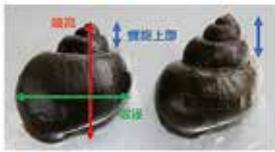
地域ぐるみで取り組みましょう  
ジャンボタニシによる水稲の被害を防ぐために

【秋冬編】

暖冬の影響で全国でのジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の発生が増えています。冬期の耕うんや薬剤の適切な散布など防除対策を組み合わせ、移植水稲での被害を防ぎましょう。地域ぐるみで取り組めば、さらに効果的です。



ジャンボタニシ (スクミリンゴガイ)



ジャンボタニシ

マルタニシ



ヒメタニシ

- ・成貝の殻高は2～7cm程度
- ・本貝は、他のタニシ類に比較して、螺旋上部の長さが短く、殻径と殻高がほぼ同じです。また、黒い殻角とピンク色の殻頂が特徴です。



用水路（水口）の卵塊



被害を受けた水田

- ・深水となった部分で被害が生じやすく、被害された場合には、欠株となります。
- ・田植え後、約3週間までの柔らかく小さな苗を食害し、特に移植苗を移植した場合に被害が大きくなります。
- ・本貝には人体に有害な寄生虫（広原住血線虫）がいる場合があるため、ゴム手袋やゴム拾い用トンブなどを使用し、素手では扱わないでください。もし、素手で触った場合には、石けんで手をよく洗いましょう。

●防除対策の詳細は裏面を参照ください。

農林水産省

【秋冬編】ジャンボタニシの防除対策（移植水稲）

秋冬期には、以下の防除対策を実施し、越冬個体数を減らすことが重要です。

○ 秋期の石灰窒素（発生量が多い場合に実施）

殺貝効果のある石灰窒素を散布。



いつ・どのように

- ・水温が17℃以上の時期に、3～4日間温水を保った後、石灰窒素を散布。

留意事項

- ・魚毒性が高いため、田面水は水路に流さず自然落水させる。
- ・窒素成分を多く含むため、次作の施肥量を減らす調整が必要。

○ 冬期の耕うん（発生している場合に必ず実施）

物理的な破砕を行うとともに貝を厳寒期の寒風にさらす。



いつ・どのように

- ・土壌が乾燥して固い厳寒期（1～2月）に、トラクターの走行速度を速く、PTO回転を速く（ロータリーの回転を速く）し、土壌を細かく砕くように耕うん。

留意事項

- ・未発生ほ場への貝の持ち込みを防止するため、使用後のトラクターに付着した泥を洗浄。

○ 冬期の水路の泥上げ（発生量が多い場合に実施）

越冬場所をなくし越冬個体を寒風にさらすため、水路の泥上げを地域全体で行う。



いつ・どのように

- ・殺貝効果が高まる厳寒期（1～2月）に実施。

留意事項

- ・掘り上げた泥は、未発生ほ場に持ち込まない。

- 春夏期の防除対策として、田植え前まで：取水口・排水口への網の設置、春夏期の石灰窒素 田植え時から：浅水管理、薬剤散布などを組み合わせて実施しましょう。



ジャンボタニシに

ご注意を



関東以西の温暖な地域では、俗にジャンボタニシと呼ばれるスクミリンゴガイによる農作物への被害が深刻です。用水路や水田及びその周辺に繁殖し、田植え直後の柔らかい稲や、れんこんの若芽を根こそぎ食い荒らしています。温暖化などの影響もあり、越冬する個体が増えたことも被害拡大の一因です。

ジャンボタニシを予防するには「侵入させない」「食べさせない」「広げない」の3つが重要です。取水口に5ミリ以下のネットや金網を設置し侵入を防ぎ、防除剤や浅水管理で稲を食べさせないようにすることが有効です。「広げない」は寒さに弱いジャンボタニシを越冬させないための方法です。厳寒期耕うん作業を行い、物理的に粉

砕したり、殻を傷つけて耐寒性を低下させることで数を減らすことができます。予防と対策を並行して、ジャンボタニシによる食害から農作物を守りましょう。

※農林水産省作成リーフレット

# 公表します!

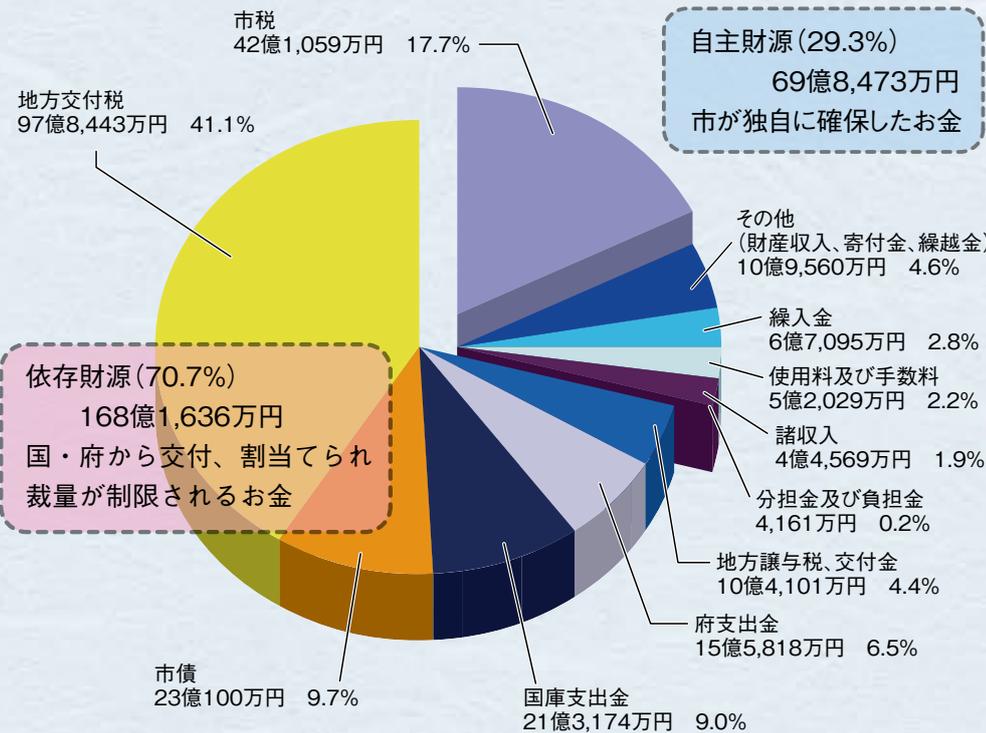
※表示単位未満四捨五入のため  
合計が一致しないことがあります。

皆さんの税金がどのように使われ、市の財政がどのような状況にあるのかを知っていただくため、年2回財政状況を公表しています。

今回は令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)の決算状況と令和2年度上半期(令和2年4月1日から令和2年9月30日)までの予算執行状況をお知らせします。

## 令和元年度決算

一般会計 歳入  
238億109万円



○一般会計の決算  
令和元年度の一般会計決算は、歳入総額238億109万円、歳出総額228億8869万円となりました。歳入歳出差引額は9億1240万円です。このうち翌年度へ繰り越すべき財源3億5万円を差し引いた実質収支額は6億1235万円の黒字決算となりました。  
南丹市では、今後とも事務事業の見直しを積極的に行い、長期的に安定した健全な財政運営を目指します。

健全化判断比率	指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
	令和元年度	—	—	13.4%	82.7%
	早期健全化基準	12.85%	17.85%	25.0%	350.0%
	財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	—

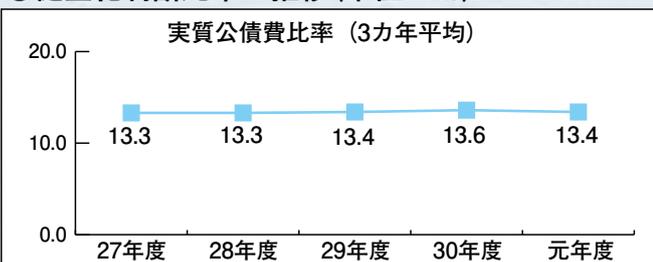
※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」としています。

資金不足比率	会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
	南丹市上水道事業会計	—	20.00%
	南丹市下水道事業特別会計	—	

※資金不足額がないため、資金不足比率は「—」としています。

○財政健全化判断比率等  
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、地方公共団体は毎年度、決算に基づいて健全化判断比率などを算定し、監査委員の審査に付した上で、その意見を付けて議会に報告するとともに、市民の皆さんに公表することとされています。

### ○健全化判断比率の推移(単位：%)



借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、南丹市の財政規模に対する割合で表す指標です。



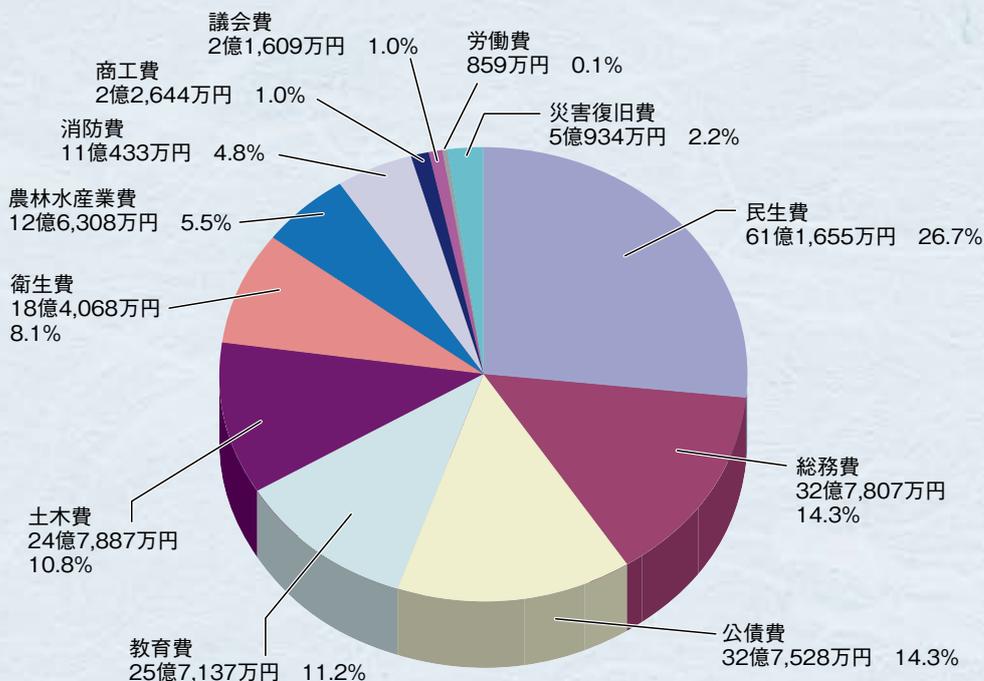
借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、市の財政規模に対する割合で表す指標です。

# 財政状況を

一般会計 歳出  
228億8,869万円

## ○特別会計の決算

特別会計とは、特別の事業を行うために一般会計と分けている会計のことです。国からの補助金などもありますが、その経費は受益者(サービスを利用される方)が負担するのが原則です。  
南丹市には6つの特別会計があり、令和元年度のそれぞれの決算状況は、右下の表のとおりです。



## ○企業会計の決算

企業会計とは、市が直営する水道・病院・交通など、自治体が住民福祉の増進を目的に設置し、経営する企業の会計のことです。  
南丹市は水道事業を企業会計としており、収益的収支7977万円の純利益(黒字)を計上することができました。  
資本的収支では、4億350万円の収入不足となりましたが、留保資金などで補てんしました。

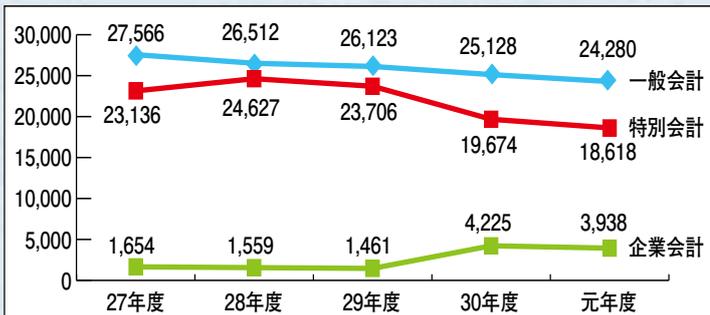
## 特別会計

名称	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	36億281万円	35億8,796万円	1,485万円
介護保険事業	43億2,800万円	42億463万円	1億2,337万円
市営バス運行事業	8,536万円	8,167万円	369万円
下水道事業	26億3,145万円	24億4,290万円	1億8,855万円
土地取得事業	17万円	17万円	0円
後期高齢者医療事業	4億8,210万円	4億7,343万円	867万円

## 企業会計

会計名	歳入	歳出	差引	
上水道事業	収益的	10億9,146万円	10億1,169万円	7,977万円
	資本的	1億3,838万円	5億4,188万円	▲4億350万円

○地方債残高の推移(単位：百万円)



○地方消費税交付金(単位：万円)

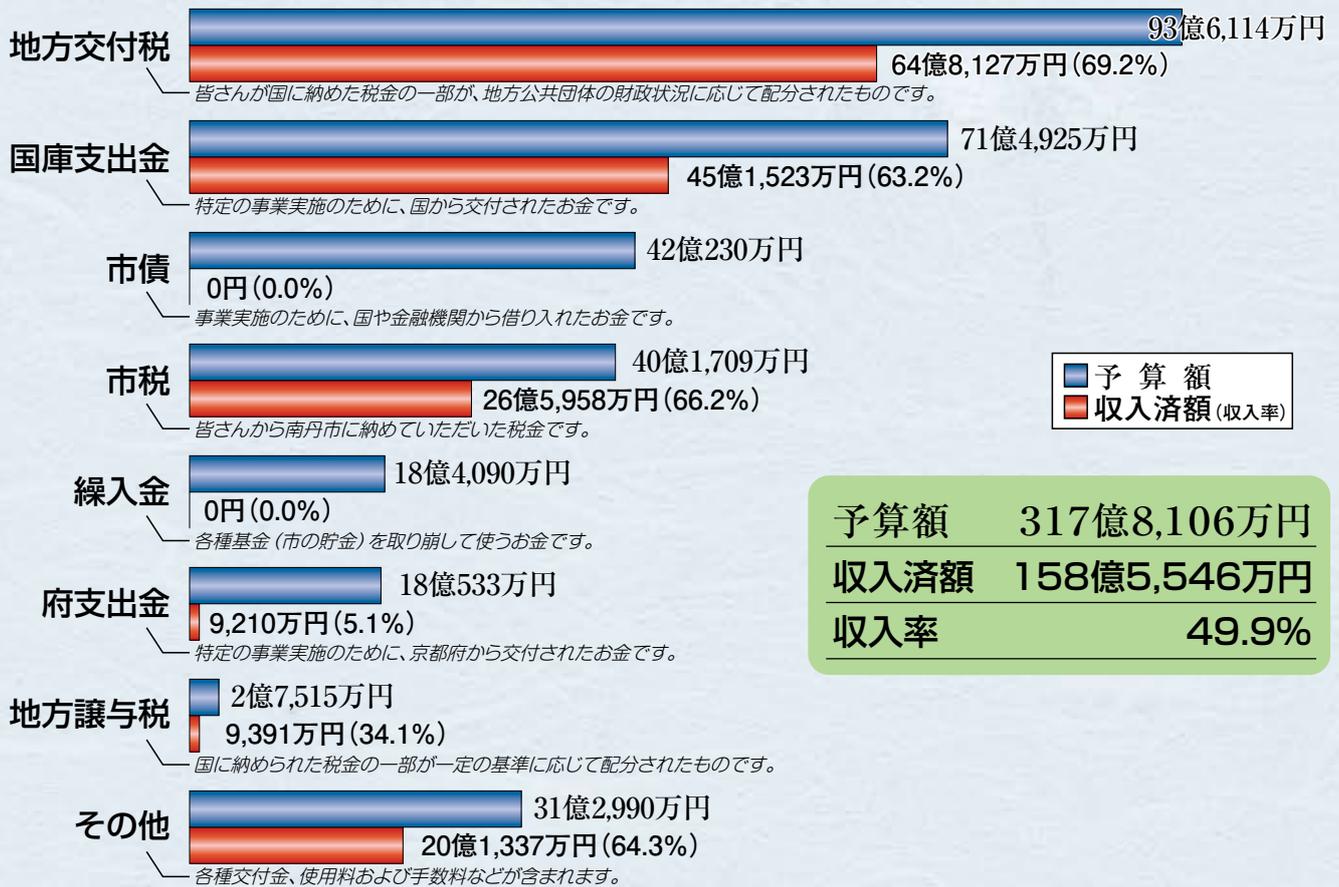
(地方消費税引上げ分の社会保障施策への充当)

地方消費税交付金(社会保障財源分)充当事業区分	事業費	地方消費税交付金(社会保障財源分)充当額	充当割合
社会福祉費	227,874	11,935	5.2%
社会保険	112,304	10,135	9.0%
保健衛生	14,779	1,516	10.3%
計	354,957	23,586	6.6%

# 令和2年度予算執行状況

## 一般会計 《歳入》

※ 繰越予算額を含む  
※ 単位未満四捨五入



市民1人あたりに  
使われる市のお金  
102万円

市民1人あたりが負担  
する税金(市税)  
13万円

1世帯あたりに使わ  
れる市のお金  
223万円

1世帯あたりが負担  
する税金(市税)  
28万円

◆算出方法◆

市民(世帯)に使われるお金=総予算 ÷ 人口(世帯数)

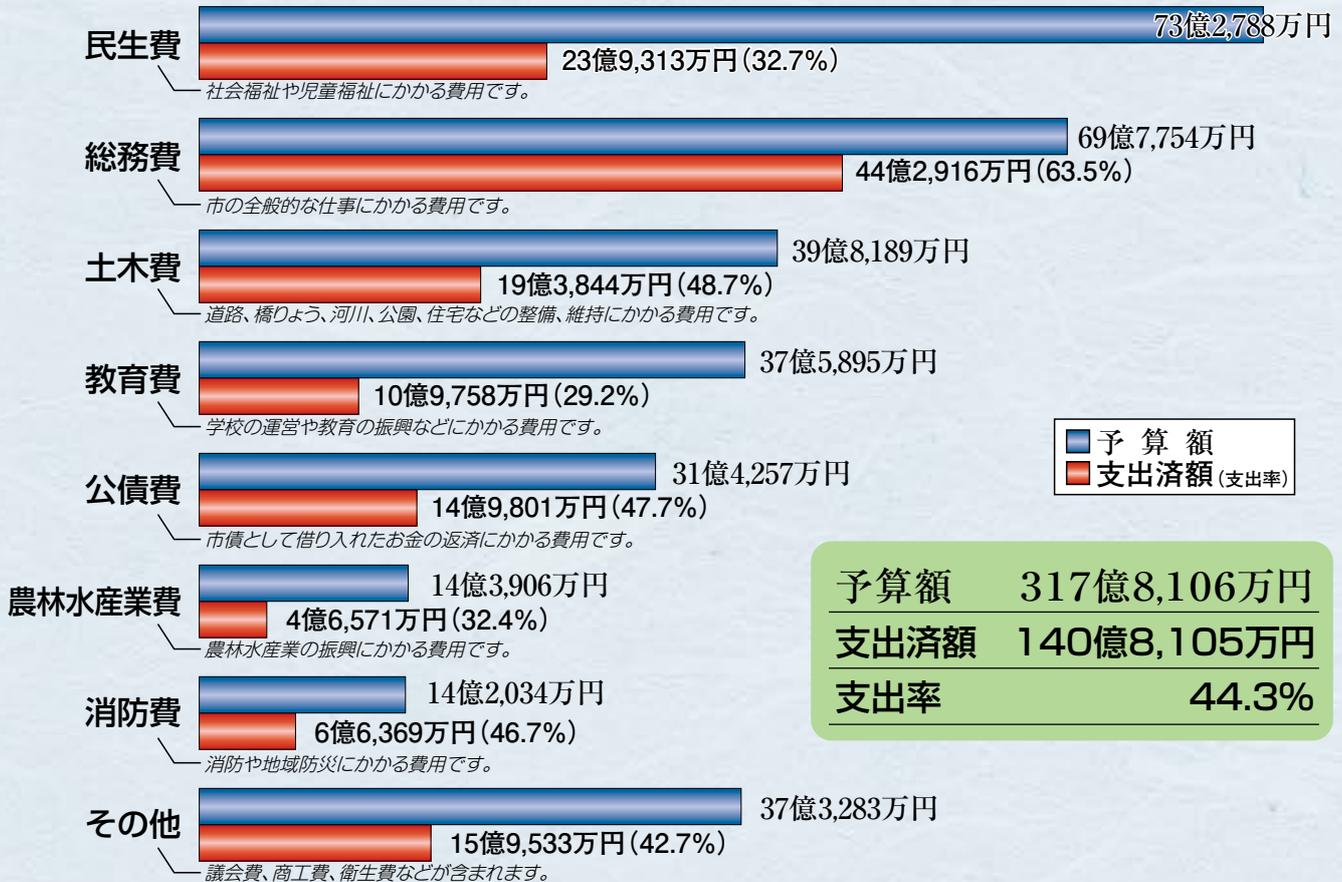
市民(世帯)が負担する税金=市税予算 ÷ 人口(世帯数)

※令和2年9月30日現在の

人口 31,180人 世帯数 14,265世帯

# 一般会計 《歳出》

※ 繰越予算額を含む  
※ 単位未満四捨五入



# 特別会計

※ 繰越予算額を含む  
※ 単位未満四捨五入

名称	予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険事業	38億1,573万円	13億7,207万円	36.0%	12億9,840万円	34.0%
介護保険事業	44億1,714万円	17億4,927万円	39.6%	17億3,374万円	39.3%
市営バス運行事業	7,634万円	852万円	11.2%	2,496万円	32.7%
土地取得事業	30万円	0円	0.0%	0円	0.0%
後期高齢者医療事業	5億4,876万円	1億6,489万円	30.0%	1億6,641万円	30.3%

# 公営企業会計

※ 繰越予算額を含む  
※ 単位未満四捨五入

名称	区分	収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	支出率
水道事業	収益的	10億4,566万円	3億8,707万円	37.0%	10億672万円	1億4,347万円	14.3%
	資本的	5億2,409万円	7,093万円	13.5%	10億1,666万円	1億8,702万円	18.4%
下水道事業	収益的	28億332万円	15億52万円	53.5%	28億312万円	4億4,164万円	15.8%
	資本的	8億716万円	1億206万円	12.6%	17億2,798万円	8億2,163万円	47.5%

社会福祉法人長生園では、新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者が発生した場合を想定し、南丹市内の高齢者福祉施設としていち早く居室に簡易陰圧装置を導入されました。

簡易陰圧装置は、感染拡大のリスクを低減するために、ウイルスが外に漏れないよう、気圧を低くした居室である陰圧室の設置が有効であることから、居室に簡易陰圧装置を備え、室内の空気を吸い込み、フィルターを通して屋外に排出することで、居室の空気が館内に流れ込まないようにするものです。コロナ対策を講じることで、入所者や施設従事者への感染防止に努めておられます。



▲陰圧装置の操作説明を受ける職員ら

11/27 長生園 陰圧装置導入

## 「高齢者福祉施設でコロナ対策が進む」



▲八木城跡登山ツアー参加者と記念撮影

11月23日、丹波三大山城の一つに数えられる八木城の御城印が内藤ジョアンの顕彰碑前でお披露目されました。

御城印は十字架がついた兜をあしらったデザインのものなど2種類となっており、地元の商店で買い物をした人に配布されます。八木町観光協会の寺田会長は「御城印をきっかけに、まちを盛り上げたい」と話されました。

また、11月30日には寺田会長から「マンガ八木城と内藤ジョアン」を木村教育長に贈呈されました。同マンガ本は市内小中学校へ配布されています。

さらに、11月28日には八木市民センター文化ホールで、八木町観光協会主催の八木城フェスタが開かれ、明智光秀ゆかりの地として関心が高まる八木城とキリシタン武将内藤ジョアンにスポットを当てたミュージックコンサートや講演などが行われました。

## 「ジョアン顕彰碑前で御城印お披露目」

11/23 「八木城御城印」お披露目・授与式

## 「児童が安心して学び、生活する場所」

11/18 八木せきれい東放課後児童クラブ竣工式



▲テープカットの様子

11月18日、八木せきれい東放課後児童クラブの竣工式が開催されました。

施設は八木東小学校に隣接する場所に建設され、放課後に児童たちが安心して過ごすことのできる場所として活用されます。

西村市長は学校や工事関係者らへの感謝の言葉とともに「未来を担う子どもたちに夢を持ってほしいという思いで建設した。大切に使ってほしい」と話されました。



▲新設された南丹市子ども家庭サポートセンター

10月に子ども達の成長をサポートする場として「南丹市子ども家庭サポートセンター」が園部小学校の敷地内にオープンしました。

同施設は、小中学生の放課後等に、スタッフとの関わりの中で生活リズムを整えたり、学習習慣を身につけたり、食事を一緒に作るなどの体験活動を家庭的な雰囲気の中で行う場となります。

愛称は、市の鳥オオルリに因み、子ども達の幸せを願って「Ruri（ルリ）」と名付けられました。

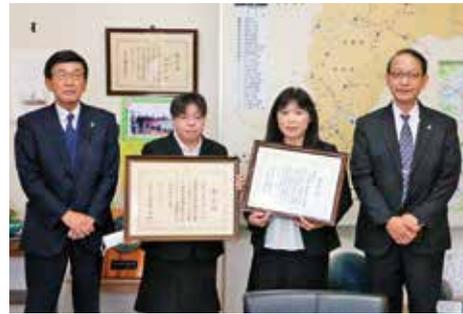
（南丹市子ども家庭サポートセンター）オープン

## 「子どもたちの成長をサポートする」

12月1日、令和2年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞報告が行われました。

この表彰はPTAの健全な育成と発展が目的とされており、このたび八木東小学校PTAが選ばれ、青木会長および城内校長が受賞報告に来られました。

八木東小学校PTAでは「ハイタッチあいさつ運動」をはじめとした活動で親子ともに学び成長する取り組みを推進されています。



▲左から木村教育長、青木会長、城内校長、西村市長

## 「よりよいPTA活動を目指して」

（12 / 1 令和2年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞報告

## 「食をすることでお腹と心を満たす」



▲木村教育長に受賞報告をする船越校長

園部第二小学校が学校給食優良学校表彰を受け、11月19日に南丹市役所で木村教育長へ受賞報告をしました。

学校給食優良学校表彰は、京都府教育委員会から、食に関する優れた取り組みに贈られるものです。

園部第二小学校では、平成27年度から弁当の日の取り組みを進め、平成30年度から3年間、食に関する指導の充実を目指す実践校として指定を受け、取り組んできました。

（11 / 19 学校給食優良学校表彰受賞報告

## 「改修工事品質管理・施工管理を評価」

9月25日、南丹市役所で「令和2年度南丹市優良建設工事表彰式」が行われました。

この表彰式は、前年度に行われた市の発注する工事の中で、品質管理・施工管理を表彰するものです。

今回は南丹市役所八木支所の改修工事を手掛けた丹波建設株式会社と園部海洋センターの耐震補強工事を手掛けた株式会社共立工務店が表彰を受けました。



▲記念撮影の様子

（9 / 25 令和2年度南丹市優良建設工事表彰式

## 地域おこし協力隊レポート



こんにちは。令和2年9月に協力隊に就任した大石です。動画制作を学んでいる経験を活かし、集落支援員とともに、美山町向山区のゆず栽培の動画を制作しています。コロナ禍のなか、集まらなくてもその活動を報告でき、より多くの市民の皆さんにも知っていただけのようにと初の取り組みで試行錯誤しながらチャレンジしていきます。また、美山町鶴ヶ岡地域で伏見稲荷大社のお正月の大しめ縄づくりを動画に収め、素晴らしい技を次の世代に残す取り組みに参加させていただきました。今後地域への伝統や南丹市の魅力を動画で残す、また多くの方に知っていただきたい情報をインスタグラムやフェイスブックなどのSNSでも発信していきたいと思っています。

そのほかに、長年カフェを営んでいた経験を活かし、実際に空き家バンクの物件を購入し、家族で改修していく過程や南丹市での田



▲鶴ヶ岡地域で作られるしめ縄



田舎暮らし」

● YouTubeチャンネル  
「KYOTO KOMINKA」

舎暮らしを発信するYouTubeチャンネルを立ち上げました。今や情報発信のツールとしてYouTubeというのは外せないものです。激動の時代、今後ますます田舎に引越したい、地方で暮らしながら働きたいと考える方は増えてくると思います。田舎暮らしにあこがれている方の背中をそっと押してあげたり、南丹市で生まれ育った方にも田舎の生活には都会にはできない魅力があったんだと違った目線で再発見していただけるようなチャンネルにしたいと思っています。将来的には南丹市に住む子どもたちに、動画を撮ることを通じて生まれ育った地域の魅力を再発見できるように取り組みもしていきたいと思っています。



-13-

## インフォメーション

### 南丹市公式YouTubeをご覧ください

チャンネル登録をお願いします。

南丹市では、市の取り組みやイベント、観光情報、シティプロモーション動画などを市内外に積極的に発信するため、YouTubeに「南丹市動画チャンネル」を開設しています。

現在、登録者も少なく再生回数もあまり伸びていませんので、「こんなことが知りたい」「こんなことやってみたらどう」など、ご意見がありましたらコメント欄に書き込んでいただけると、参考に制作していきたいと思っています。

また、京都府立大学の窪田好男教授とそのゼミ生が9月から地域の魅力を発信しようと、高校生 YouTube 養成講座を開催されています。高校生が作った創造力あふれる映像もアップロードしていきたいと思っていますので、ぜひご覧ください。チャンネル登録もよろしくお願ひします。



## 南丹の景観ちょっと情報



八木町 八木城跡

【八木町 八木城跡】

JR八木駅の南東部に位置する「八木城跡」は、南北約900m・東西約700mと、京都府下でも最大級の規模を誇る山城です。

頂上部にある本丸跡からは眼下を一望でき、桂川（大堰川）や亀岡盆地を見渡すことができます。本丸跡は地元の方によりきれいに整備されているため、さえぎるものがない広い眺望を楽しめます。

登山口から頂上部の本丸跡へは、40分ほどで到着します。登山道は、何合目かを示す標識が設置されており、手軽に登れる山城として親しまれています。

## 景観の小窓



第38景



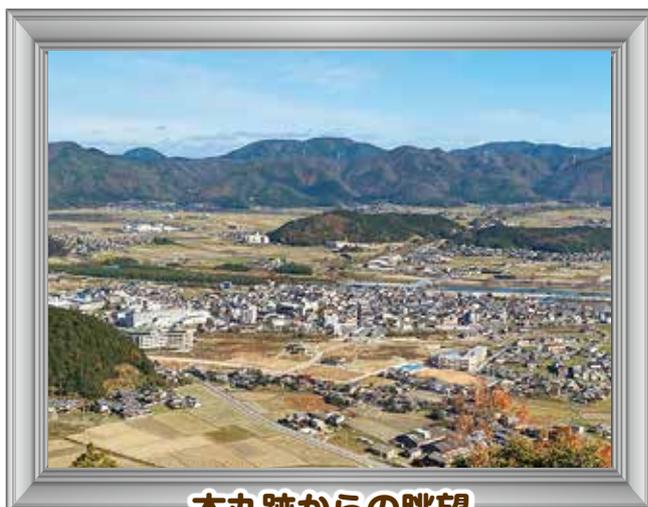
八木城跡 登山口



登山道と標識



八木城本丸跡



本丸跡からの眺望

南丹市公式 YouTubeでも  
登山の様子を配信しています。

問い合わせ先  
地域振興課  
TEL(0771)68-0019  
美山支所総務課  
TEL(0771)68-0040

また、行おうとする行為が届出の対象になるかなど、ご不明な点や景観計画に関することは、地域振興課または美山支所総務課にご相談ください。  
市民の皆さんをはじめ、南丹市に関わる多くの方々と一緒に、優れた景観を守り育てていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

届出対象行為は、**工事着工の30日前までに届け出を！**

みんなで  
描こう

# 協働のキャンパス55

## 地域のさらなる活性化を目指して！

### 折りと蛍の郷 竹井区

竹井区は府道54号線沿いに位置し、園部川に沿って広がる、140世帯、人口348名の準限界集落です。

胎金寺山の麓にある摩氣神社は、摩氣地域全体の氏神さまとして地域住民に大切に守られてきました。

この神社や摩氣橋周辺は、江戸時代の風情が今も残り、これまでから時代劇の映画やドラマの撮影場所として、しばしば使われています。

近年はゆるやかな人口減少とともに少子高齢化が進んできましたが、地域住民が一丸となって課題解決に取り組んでいます。

そのひとつとして、5年前から営農組合を立ち上げ、黒豆やお米、



▲犬講演会の様子

小豆の栽培をおこなってきました。

また、交通手段のない高齢者を対象に、社会福祉協議会と連携して、買い物のための送迎車の試験運行を実施したこともあります。

そして、一昨年からは始めた集落支援事業では「蛍の夕べコンサート」「神門駆け大会」の開催のほか、摩氣神社に鎮座する狛犬が江戸時代の名工・丹波佐吉の作品であることに着目し、その価値の掘り起こしと情報発信、集落内の植樹などを行っています。

歴史のある地域を守るとともに新しいことにも挑戦し「住んでよかった竹井区に」を合言葉に、住民が故郷への愛着と誇りを持てるよう頑張っています。



▲竹井を歩こう会

## 「地域活性化活動の紹介」園部地域編

### みんなで美しい景観を 法京区

法京区は、10世帯、人口24名。国道372号線から、るり溪に向かう山間にある小さな集落です。

法京という名前は、平安時代、花山天皇がこの地を訪れた時、その素晴らしい風景に感激され、お寺を建立。以後、「法の都『法京』と名付けよ」と言われたのが始まりだと伝わっています。

しかし、少子高齢化が進み、園部地域では最初に限界集落になりました。若い世代の住民が減り、花山天皇が愛でられた美しい景観を維持することも困難になりました。そんな状況に危機感を持ち、昨年度から集落支援事業に取り組みことになりました。



▲大きくなり過ぎた樹木の伐採作業

昨年は、毎月集まって集落の魅力や問題点を洗い出し、目指すべき姿、今後取り組むべき計画を「法京区今→未来図」という冊子にまとめました。今年からはその計画に基づき、月2回みんなで集まって、集落内の大きくなり過ぎた樹木の伐採や藪の片付けを行っています。また、蛍や植物など恵まれた自然を活かすため、生物調査や保護活動にも取り組んでいます。



▲昨年行ったワークショップの様子

地域でお手伝いできることがあります。もしたらぜひお声かけください。

集落支援員室

Tel 0771-68-0108

食は、

ひびひびり、まぢひびり



—45—

### 農業を通じて食の大切さを学ぶ 〜農業体験における食育〜

近年では、生産現場と生活の距離が広がり、子どもだけでなく大人を含めた消費者の多くが、自分の食生活が自然の恩恵や食に関わる人々の活動に支えられていることを実感しにくくなっています。

こうした中、食料の生産から消費までの食に関するさまざまな体験活動を行うことは、食に関する知識と食を選ぶ力を習得し、健全な食生活を自ら行うことができる人を育てる「食育」を推進する上でとても重要です。

### 教育ファーム

食育基本法や食育推進基本計画などにおいて、農林漁業に関するさまざまな体験の機会を提供する「教育ファーム」の取り組みは、食育の推進に関する活動として位置付けられています。

教育ファームとは、一時的なイベントではなく、生産者の指導を受けながら、大人も子どもも一連の農作

業などを体験することで「食生活が自然の恩恵の上に成り立っている」とや食に関する人々のさまざまな活動に支えられていることなどの理解を深める」などの効果が発揮される農林漁業体験活動です。

### 市内における取り組み

農業を基幹産業としてきた南丹市には、多くの農地が存在し、水稲作のほか、多様な農業が営まれています。

しかしながら、農家の高齢化や担い手不足などにより、農家数は減少の一途をたどっています。そのため、日々の生活で田園風景を目にする本市においても、生産現場と生活の距離は広がりつつあります。

そうした中、市内の保育園や小学校、地域、各種団体などでは、今まで基幹産業である農業の体験活動を実践されています。

また、南丹市八木農村環境公園「氷室の郷」においても、年間を通して農業体験を行っており、市内外から来場者があります。

### 南丹市八木農村環境公園「氷室の郷」での農業体験

9月下旬、京都市上京区のごくま白雲北保育所の園児が稲刈り体験を行いました。

職員から稲の刈り方や鎌の持ち方などの説明を受けた後、園児らは鎌に力を込めながら稲を刈り始めました。



鋸鎌で稲を刈る園児たち

刈り取りが終わると束ねた稲を稲木に掛け、天日干しにします。子どもたちは夢中で作業を続け、あつという間に終わりました。



刈った稲を運ぶ様子

子どもたちは、作業を通じて田んぼで実った稲が食卓の白いごはんにつながっていることを学び、食べ物への関心や感謝の気持ちなどが深まったのではないかと思います。

### 農業体験を通して

全身を使って体験することで、そこでの経験や新たな発見は子どもたちの記憶に刻まれたのではないのでしょうか。

そして、食べ物を作る過程と収穫したものを頂くという一連の流れを意識することで、食への関心がより深まり、大切にするといい気持ちが生まれ、食べ残しを減らすことにもつながると思います。

市内の各地で行われている農業体験を通して、子どもたちの心が育まれるとともに、農業・農村・南丹市を大切に思う気持ちが生まれてくれることを願います。



問い合わせ先

南丹市食育推進委員会

(事務局・保健医療課)

Tel (0771) 68-0016

# いきいき南丹

-101-

お元気ですか？  
保健師です。



With コロナの時代を生きる

## 新しい生活様式で感染予防をしよう

新しい一年がスタートしました。今年こそ、他者との距離を取る必要のない日常が戻ることを願って止みません。

とはいえ、新型コロナウイルス感染症とのお付き合いは当面続きそうです。新たな生活様式を身に着け、新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症と上手く付き合っていく必要があります。

感染のリスクが高まるとされる場面は次の通りです。

- 【場面①】飲酒を伴う懇親会など
- ・ 飲酒の影響で気分が高揚すると注意力が低下したり、大きな声になりやすい。
  - ・ 狭い空間に長時間、大人数が滞在すると感染リスクが高まる。
  - ・ 回し飲みや箸などの共用が感染リスクを高める。

【場面②】大人数や長時間におよぶ飲食

- ・ 長時間や接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて感染リスクが高まる。

【場面③】マスクなしでの会話

- ・ マスクなしで近距離で会話すると、飛沫感染リスクが高まる。
- ・ 車やバスなどでの移動の際にも注意が必要。

【場面④】狭い空間での共同生活

- ・ 長時間にわたり閉鎖空間が共有され、感染リスクが高まる。
- ・ トイレなどの共有部分についても注意が必要。

【場面⑤】居場所の切り替わり

- ・ 休憩時間など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化で感染しやすい状況を生み出しやすい。

特に感染の場として多いとされているのが「食事の場面」です。

### ●新しい生活様式

**⑤差別は絶対にダメ**

新型コロナウイルスは、誰もが感染しうる病気であり、感染者等に対する差別的扱いや誹謗中傷は絶対に行わないこと

**③発熱したら自宅で療養**

発熱又は風邪の症状がある場合は、無理せず自宅で療養する

**①基本を実践**

身体的距離の確保    マスクの着用    手洗い

感染防止の3つの基本を実践する

**④ステッカーを目印に**

ガイドライン推奨宣言事業所ステッカー掲示施設の利用  
・「ココロ」等接触確認アプリの活用

**②3つの密を避ける**

密閉    密集    密接

換気の悪い密閉、多数が集まる密集、隣近で会話や発声をする密接を避ける

iOS

Android

ココロ

### ●感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

- ・ 飲酒の場合は『少数人数・短時間』、『なるべく普段一緒にいる人と』
- ・ 『深酒・はしご酒は控え、適度な酒量で』を守る。
- ・ 箸やコップは使い回さない。
- ・ 席の配置は斜め向かいで、正面や真横は避ける。
- ・ 会話する時はなるべくマスク着用で。
- ・ 換気を適切に。
- ・ 体調が悪い場合は参加しない。
- ・ 食事は味わいながら、語らいながら楽しみたいところですが、今は『語らいは食事の後で』が望ましいようです。

新しい生活様式で感染予防し、Withコロナ時代を乗り切りましょう

問い合わせ先  
保健医療課  
TEL(0771)68-0016

## 「自己肯定感を育む人権教育」



**自**分を大切に・友達を大切に「これは、胡麻郷小学校の人権教育のキーワードです。本校では、年に二回校内人権旬間を設けて、人権意識を高める取り組みを行っています。あわせて「なかよしアンケート」を実施し、今の自分を客観視させ、自

分を知る時間を大切にしています。期人権旬間は「自分を大切に」をテーマに取り組みました。「自分紹介カード」を作り、自分のよいところをカードに書いた後は、各学級でアピールタイムを設けました。小さい頃から変わらない集団の中の発表でしたが、自分の良いところを伝えるとなるといつも以上に緊張していました。しかし、言い終わった後には、「言えてすっきりした。」「嬉しかった。」など、とてもよい顔を見せていました。

**前** 期人権旬間は「自分を大切に」をテーマに取り組みました。「自分紹介カード」を作り、自分のよいところをカードに書いた後は、各学級でアピールタイムを設けました。小さい頃から変わらない集団の中の発表でしたが、自分の良いところを伝えるとなるといつも以上に緊張していました。しかし、言い終わった後には、「言えてすっきりした。」「嬉しかった。」など、とてもよい顔を見せていました。



▲なかよし班遊びの様子

**後** 期人権旬間は、「友達を大切に」をテーマに取り組みました。友達との関わりの中でかけてもらった優しい言葉や、見

てもらった優しい言葉や、見

けたよいところをカードに書いてプレゼントしました。カードは子どもたちが一番多く通る廊下に掲示しています。友達の良いところを記入したカードがどんどん貼り付けられて、楽しみにしながら自分のカードを探す児童や、立ち止まって熱心に読んでいく児童の姿が見られました。

**今** 年度はコロナ禍の影響で特

制限されてきました。しかし、コロナ対策を徹底することで、二期からは異年齢集団によるなかよし班掃除やなかよし班遊び等を段階的に再開してきました。この期間、やりたくてもできなかった下級生との関わりができるようになった高学年は、どの子も優しさいっぱいで、いきいきとした姿をみせています。

**自**分のよいところを知り、自分をもっと好きになってほしい。自分も友達も、周りのみんなも大切にできる胡麻郷に育てていきたいと考えています。



▲友達しょうかいカード(後期人権旬間の取り組み)

(南丹市立胡麻郷小学校)

人権教育主任 高澤 佳代

## ふ・れ・あ・い

みんなで  
広げよう、  
シトラスリボン  
プロジェクト。



—第46回—

シトラスリボンプロジェクト  
「ただいま」「おかえり」  
って言いあえるまちに

新型コロナウイルスの感染症拡大は、私たちの健康で快適な生活を脅かすだけでなく、医療従事者や感染者への差別や偏見を引き起こしています。

このような中、忘れてはならないのは、ウイルスに感染しても地域や職場の中で、笑顔の暮らしを取り戻せるということの大切さです。

ウイルスの感染者やその家族、また、その治療に関わる医療従事者などが地域や家庭などそれぞれの暮らしの場に戻ったときに笑顔で「ただいま」「おかえり」と言いあえる、お互いがお互いを思いやれる空気があつてこそ、安心して安全が守られるまちになると考えます。

は、愛媛県の有志がこんな思いからスタートさせたプロジェクトです。

愛媛県特産の柑橘にちなんで、シトラスカラーのリボンや専用のロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。

リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場(学校)を表しており、これらの場で、「ただいま」「おかえり」が気軽に言いあえるまちなら安心して検査を受けることができ、ひいては、感染の拡大を防ぐことにもつながります。

また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる被害も防ぐことができます。

感染者が確認されたこと、後に確かな対応ができるかどうかでその地域のつながりが見えてきます。

南丹市では、このシトラスリボン運動に賛同し、どんな場合でも、皆が地域や職場などに帰って来たときに普段どおりの生活が送れるような優しく思いやりのある地域づくりを目指します。

(人権政策課)



郷土資料の紹介

「ふるさと」の歴史にふれてみませんかー

南丹市立図書館では、南丹市について書かれた本や南丹市出身者の著作などを収集しています。合併前のそれぞれの地域が持つ歴史や、南丹市出身の方々の足跡をたどることのできる資料など、郷土資料は大変意義深いものです。広い面積をもつ南丹市ですが、戦国時代の八木城や日本で最後に築城された園部城な

ど、地域ごとに歴史ファンが興味をそえられるテーマもついています。市内の各図書館・室では可能な限り手に取って読んで頂けるよう「郷土資料コーナー」を設けています。昔々のふるさとの様子や人々の暮らしを垣間見ることが出来ますので、興味のある方はぜひご利用ください。

新刊紹介

『シャルロットのおしゃぶり』

文…フアニー・ジョリー  
絵…フレッド・ペナグリア  
発行…教育画劇



シャルロットは、おしゃぶりが大好き!家族があの手この手を使ってやめません。ある日、家族みんなの口におしゃぶりが。シャルロット、どうする?

『「繊細さん」の知恵袋』

著者…武田 友紀  
発行…マガジンハウス



心が繊細で、周りのことに敏感な人を著者は愛情をこめて「繊細さん」と呼びます。生きづらさを感じやすい繊細さんたちの、悩みを軽くする知恵を集めた本です。

暮らしと



—第71回—  
消費生活情報

排水管の高圧洗浄

トラブルに注意!

事例 「排水管の高圧洗浄3千円」というチラシを見て電話で業者に頼んだ。見積書は2万円を超えていたが、自分が家に呼んだので契約書にサインした。その後、別の担当者が家に来て「排水設備が老朽化しているので、全部交換したほうが良い。交換しないと家が傷んでしまう」と言われ、20万円の排水工事の契約を結んでしまった。(80歳代 女性)  
※独)国民生活センター見守り新鮮情報第377号より



ひんごと助言

安さにつられて安易に依頼しないようにしましょう!

●「無料点検」や低価格を強調したチラシに勧誘され、高圧洗浄を頼んだら高額な費用を請求されたという相談が増えています。

●チラシに「〇〇円」と大きく記載されていても、料金の条件などをしっかりと確認し、安さに

つられて安易に依頼しないようにしましょう。

本当に必要な作業かを考えて

●本当に必要な作業なのか冷静に判断しましょう。判断できずに安易に依頼するのは止めましょう。

●排水管洗浄をきっかけに、事業者からさらなる点検や別の作業の契約を勧誘される場合もあります。必要がない契約はきっぱり断ることも大切です。

●電話や訪問販売による勧誘を受けて契約した場合は、契約書を受け取ってから8日以内ならばクーリング・オフができます。

●商品やサービス購入などでお困りごと、不審に思うことなどがありましたら、左記窓口にお気軽にご相談ください。

消費者ホットライン

TEL 1888 (いやや!)

南丹市消費生活相談窓口

TEL (0771) 68-0100

月曜・火曜・金曜(祝日は休み)

午前9時〜午後4時

京丹波町消費生活相談窓口

TEL (0771) 82-3803

水曜・木曜(祝日は休み)

午前9時30分〜午後4時



インスタグラム

Instagramに写真を載せませんか？



「#なんたんぐらむ」とタグ付けして投稿してください



登録はコチラ



NANTANGRAM

※タグ付けされた写真を広報誌などで紹介させていただく場合があります。



あなたのイチオシを教えてください。




みんなでつなぐ未来の南丹市  
南丹市制施行 15 周年




# 堰水好日 えんすい こうじつ

市長  
コラム

初冬の里山を眺める。黄色く色づいた敷布も色を失い、逆さに立てた箒のように雑木が並ぶ。記憶では収穫が終わった田んぼから人が消えたかと思えば、近くの里山の雑木林では柴づくりに薪づくりの音が聞こえていた。民家の屋根裏にも柴や薪が蓄えられ、かまどや風呂、囲炉裏の燃料となる。見事なエネルギーの自然循環である。昭和中期までのこの光景は今ももう見られない。

ところが最近知人が「薪」の話をしているのをよく耳にする。原木を買ってきて薪づくりに励んでいる、薪何キロをいくらで買った、一度薪ストーブを使い始めると暖かくてもう離せない、今度居間を改造して薪ストーブを設置しようと考えている、などである。

我が家でも、もう十年以上前から薪ストーブを使っている。揺らめく炎を見ながらストーブの傍でくつろぐ、これはもう至福の時間。煮物や湯沸かし、物の乾燥、灰は肥料にと大活躍である。自給のため山に入り、時間をかけて薪をつくる苦勞も忘れてしまう。

ところで、地球温暖化が原因といわれる猛暑や猛烈な台風襲来、サンゴ礁の消滅や漁業の異変など気候変動の影響は不気味な様相を示す。

二酸化炭素やメタンは地球温暖化に及ぼす影響が最大の温室効果ガス。政府は2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする」と発表。今や世界的にも脱炭素社会移行が必須の課題となってきた。

風力や太陽光発電など温暖化ガスを排出しないエネルギーの確保やバイオ燃料活用などカーボンニュートラル(排出二酸化炭素と吸収二酸化炭素が同じ量という概念)の取り組みが急がれる。まさに薪ストーブはこのことを実現している。非常にささやかではあるが、一人一人が温暖化防止につながっている。荒れた里山の再生にも役立つ。

南丹市は88%を森林が占め、その6割が自然林である。薪を使う家庭が増え需要が一定量以上となれば、薪づくりが共同化・効率化され、さらに産業化が進む。市内には既に薪生産販売業者が生まれている。薪ストーブ購入には南丹市補助制度もある。

薪ストーブのある暮らしは手間がかかるうえ割高かも知れないが、小さな社会貢献と心の豊かさ・心の温かさをもたらしてくれる。

▼庭のピラカンサの実



南丹市長  
西村 良平

## 編集後記

皆さん、あけましておめでとーございませう。年末年始はいかがお過ごしだったでしょうか。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大という不測の事態に世界が陥り、不安が多い一年でした。今年こそはコロナ終息を迎え、笑顔の多い一年になることを願うばかりです。

本年もどうぞよろしくお願ひします。

(M)



●総人口：31,109人(-39)  
(男：15,120人・女：15,989人)  
(-13) (-26)  
●世帯数：14,226世帯(-24)  
(令和2年12月1日現在)  
( )内は前年比



森・里・街・ひとがきらめくふるさと **南丹市**  
なんたんし

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります)詳しくは秘書広報課まで

広報  
**なんたん**

編集・発行：南丹市役所 市長公室秘書広報課  
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0065 FAX:0771-63-0653  
URL:https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/  
e-mail:hisyo@city.nantan.lg.jp



本紙は環境への配慮から、FSC®森林認証紙、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。